

NEWS RELEASE



報道関係者各位

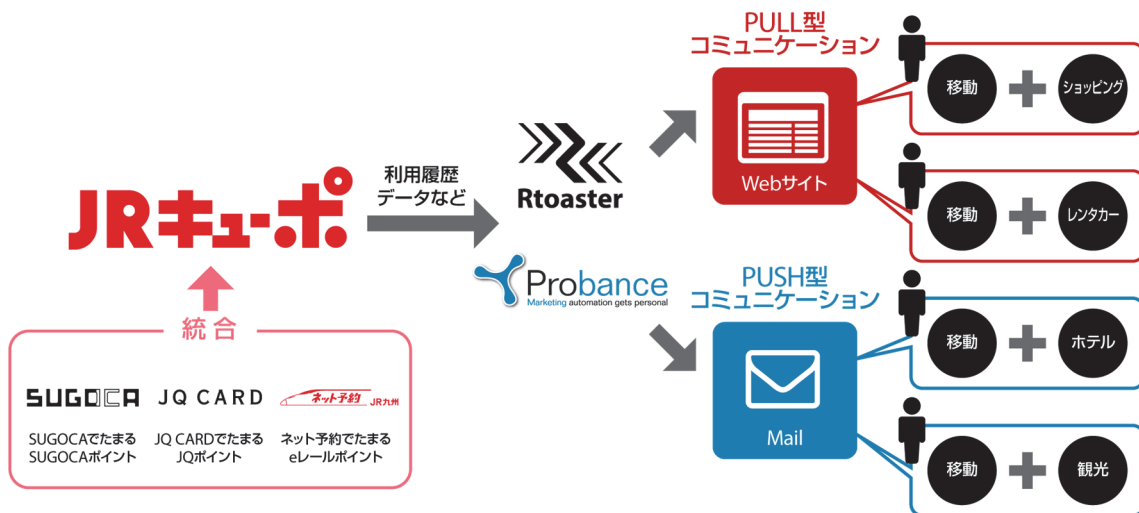
2018年3月1日
株式会社ブレインパッド

ブレインパッド、JR九州のポイントサービス統合後のマーケティング基盤として プライベートDMP+MAを導入 — お客様に「移動」プラス「ショッピング」「体験」を促すコミュニケーションを実現 — (「Rtoaster」「Probance」導入事例)

株式会社ブレインパッドは、九州旅客鉄道株式会社のデジタルマーケティング基盤として、レコメンドエンジン搭載プライベートDMP(*1)「Rtoaster(アールトースター)」とBtoC向けマーケティングオートメーション(*2)(MA)プラットフォーム「Probance(プロバンス)」を導入したことを発表いたします。

九州旅客鉄道株式会社(以下JR九州)は、鉄道事業を中心として、旅行業や駅ビル開発などの不動産業など、九州全域にわたる総合的なまちづくりを推進する事業を展開しています。

2017年7月、JR九州は、それまで別々に運営していた3つのポイントサービス(SUGOCAポイント、JQポイント、eルールポイント)を「JRキューポ」として統合しました。「JRキューポ」をお客様のライフスタイル全般をカバーするポイントサービスと位置づけ、取得したデータをより細やかなマーケティング活動に活かしていく考えです。



▲JR九州のポイントサービス統合後のパーソナライズコミュニケーションの実現イメージ

■JR九州の課題は、インターネットからのチケット購入の増加と、グループ全体でのクロスセルの創出

JR九州は、従来よりインターネットでの列車ネット予約サービスを展開する中で、列車での移動に加えて滞在先でのグループ系列ホテルや飲食店の利用など、お客様に「移動+ショッピング」「移動+体験」を促したいと考えていました。しかし、サービス毎に別々のポイントシステムを運営しており、システム間のデータ連携ができていなかったことから、これらのデータを十分にマーケティング施策に活用できない点が課題となっていました。

そこで、2017年7月に3つのポイントサービスを「JR キューポ」として統合することで、まずはサービスを横断してデータを蓄積するためのデータ基盤を構築しました。

そして、次のステップとして、インターネットからのきっぷ購入の増加と、JR九州グループ全体でのクロスセルの創出を目的とし、お客様とのコミュニケーションを可視化し、効率よくコミュニケーションを実施できるマーケティングアクション基盤を導入したいと考え、ブレインパッドの「Rtoaster」と「Probance」を導入しました。

■ブレインパッドがJR九州のデータ活用パートナーとして選ばれた理由は、 豊富なノウハウ・実績と、ツール導入後の継続的なサポートに対する安心感

創業以来、700社超のデータ活用支援実績のあるブレインパッドは、顧客分析の結果に基づくデータドリブンなマーケティング施策の設計・実行において、豊富なノウハウや実績を有しています。これらの支援実績に加え、ツール導入後もデータ活用のための継続的なサポート体制を提供できる点を評価いただき、今回の「Rtoaster」「Probance」の採用に至りました。また、各ツールのデモンストレーションなどを通じて操作性や搭載機能をご理解いただくことで、JR九州のご担当部門において容易に運用できると評価されたことも、採用のポイントとなりました。

【Rtoasterの活用シーン】

主にウェブサイト上での鉄道の予約、ホテルの予約など、各ウェブサイトへ訪問したお客様に対するパーソナライゼーションにより、販売の促進、再来訪促進などを目的として活用いただいています。

【Probanceの活用シーン】

「JR キューポ」を通じて蓄積されたサービス横断の顧客行動データを統合管理し、顧客の購入シーン別にパーソナライズされたマーケティングシナリオによるメール配信を行い、サービス間の送客や施設利用、リピート購買などの促進を目的として活用いただいています。

■九州旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部 営業部営業課 ご担当者様からのコメント

本プロジェクトはフェーズを2つに分け、まずはウェブサイトでの列車ネット予約の販売数やホテルの宿泊予約数を増やすことを主眼として、「Rtoaster」を用いてウェブサイト内レコメンドを実装しました。その後「JR キューポ」の運用開始に伴い、蓄積したポイントデータを活用して「Probance」によりパーソナライズされたシナリオによるメール配信を開始しました。

また、ツール導入だけではなく、顧客分析やリピート分析などを行い具体的な施策まで提案してもらえるのは、データ活用支援に豊富な実績のあるブレインパッドの強みだと思います。

今後は、データ活用に機械学習などを取り入れていきたいと考えており、ブレインパッドには、JR九州のデータ活用パートナーとして、より一層の支援を期待しています。

(*1) DMP (Data Management Platform) とは、広告主・メディア・ECサイトなどが保有するさまざまな大量データを収集・分析し、主にマーケティング用途での利用・活用を可能にするデータ基盤のこと。

(*2) マーケティングオートメーションとは、マーケティング活動の運用プロセスの自動化を支援するシステムの総称。

■ご参考情報

●Rtoaster (アールトースター) について <http://www.rtoaster.com/>

「Rtoaster」は、ブレインパッドが開発・提供する最先端のレコメンドエンジンが搭載されたプライベート DMP です。データの蓄積・管理から、スマートフォンアプリ/ウェブサイト/デジタル広告/メールなどの多様な顧客接点におけるパーソナライズアプローチ、行動ターゲティング/レコメンドといったアクションまで、デジタルマーケティングを強力にサポートします。複数のチャンネルを横断した最適な顧客コミュニケーションを高度かつ精緻に行うことが可能な、国内最大規模のプライベート DMP として、250 社以上のさまざまな企業に導入・活用いただいております。

また、ツールの提供に留まらず、豊富な経験を有するデジタルマーケティングコンサルタントによる導入・運用支援（要件定義から KPI の設計、施策の設計・実行、効果測定・改善案の提示）までをトータルに提供しております。

●Probance (プロバンス) について <http://www.probance.jp/>

「Probance」は、機械学習を搭載し、Predictive Communication（顧客ニーズを予測するコミュニケーション）を実現する BtoC 向けマーケティングオートメーションプラットフォームです。顧客属性や取引データ、行動データなど、BtoC 企業が保有する膨大で多様なデータを安全かつ高速に処理し、機械学習アルゴリズムを用いて、個客一人ひとりの趣味・嗜好に基づいたレコメンド施策を実行します。さらに、オンライン・オフラインを統合したクロスチャネルマーケティングで、真の One to One コミュニケーションを実現します。

●九州旅客鉄道株式会社について <http://www.jrkyushu.co.jp/>

本社所在地：福岡県福岡市博多区博多駅前 3 丁目 25 番 21 号

設立：1987 年 4 月

代表者：代表取締役社 青柳 俊彦

資本金：160 億円

従業員数：8,978 名（2017 年 4 月 1 日現在）

事業内容：旅客鉄道事業、貨物鉄道事業、海上運送事業、旅客自動車運送事業、旅行業ほか

●株式会社ブレインパッドについて <http://www.brainpad.co.jp/>

（東京証券取引所 市場第一部：証券コード 3655）

本社所在地：東京都港区白金台 3-2-10 白金台ビル

設立：2004 年 3 月

代表者：代表取締役社長 佐藤 清之輔

資本金：332 百万円（2017 年 12 月 31 日現在）

従業員数：216 名（連結、2017 年 12 月 31 日現在）

事業内容：企業の経営改善を支援するビッグデータ活用サービス、デジタルマーケティングサービス

■お問い合わせ先

●サービス・製品に関するお問い合わせ

株式会社ブレインパッド

TEL：03-6721-7002 e-mail：info@brainpad.co.jp

●本ニュースリリースに関するお問い合わせ

株式会社ブレインパッド

コーポレート本部 経営企画部 広報担当

TEL：03-6721-7700 e-mail：marcom@brainpad.co.jp

*本ニュースリリースに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
*本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。

以上